

社会レジリエンス向上のための政策技術に関するワークショップ

主 旨 : 東日本大震災・原子力災害という複合リスク問題を経験し、今後、我が国がレジリエンス強化を進めていくためには、重要インフラの相互依存関係を正確に認識したうえで、具体的で包括的な危機管理政策を提示し、実行することが求められる。本ワークショップでは、最新のモデリング及びシミュレーションを活用し、国家としてのレジリエンス向上策の立案を支援する技術の可能性について議論したい。

日 時 : 平成27年3月11日 13:00-17:40

場 所 : 東京大学工学部3号館31講義室

主 催 : JST-RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム」
「市民生活・社会活動の安全確保政策のためのレジリエンス分析」

共 催 : 工学系研究科レジリエンス工学研究センター

参 加 : 無料、事前登録不要

プログラム

13:00	開会の辞	古田 一雄(東京大学)
13:10	招待講演: ライフラインの地震時相互連関を中心とした相互依存性解析について	能島 暢呂(岐阜大学)
14:00	研究開発プロジェクトの概要	古田 一雄(東京大学)
14:30	複合的相互依存性の考慮と人間中心のレジリエンス評価	菅野 太郎(東京大学)
15:00	休 憩	
15:10	関東圏のエネルギーシステムに関する分析	小宮山 涼一(東京大学)
15:40	大規模微視的交通物流シミュレータの構築と性能評価	藤井 秀樹(東京大学)
16:10	東京都の上水道ネットワーク被害予測モデルの構築	山田 知典(東京大学)
16:40	政策議論の論理分析による脅威シナリオの創出	木藤 浩之(東京大学)
17:10	緊急事態対処における政策的・制度的な課題	谷口 武俊(東京大学)
17:40	閉 会	